

第3回
表現農場（共創勉強会）
プログラム

開催日時：2016年7月31日（日曜日）15:00～18:00

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス62号館W棟大会議室（W-1-07）

ファシリテータ（全体司会）：西 洋子（東洋英和女学院大学）

タイムテーブル

[15:00-15:40] 萌芽（講演：三輪 敬之（早稲田大学））

「共創表現メディア ―影で出会い、影でつながる―」

身体表現活動の現場に影メディアは何をもたらすのか。発達障害児らへの適用例もふまえ、インクルーシブセンスを触発し、身体的共創を促す表現メディアのデザイン手法について論じたい。

[15:40-15:45] 5分休憩

[15:45-17:00] 種まき（「共創」に関する話題提供と討議）

* 話題①：話題提供者10分 全体質疑応答 5分

話題①「動作の模倣による新しい身体性錯覚」

箕浦 舞（早稲田大学郡司研究室博士2年）

「動ける幽体離脱体験」を目指して-

rubberhand illusionを始め従来の身体性錯覚の実験では、被験者は静止を要請された。本研究では、映像の中の動きの模倣から新タイプの錯覚を実現する。

* 話題②③④⑤：話題提供者 5分 コメンテータ 5分 全体質疑応答 5分

話題②「初めての表現をつなぐ～小中学校でのワークショップ実践を通して～」

加藤 芳史（NPO法人みんなのダンスフィールド）

小中学生と手を合わせることで、それを続けていくことで見えてきたものがある。

恥ずかしさや戸惑いの奥には、好奇心やまっすぐな優しさ。さまざまな場で、子どもたちの素直な表現を引き出していきたい。

コメンテータ：平田 雄大（早稲田大学三輪研究室修士2年）

話題③「音楽への信頼を取り戻すーコンサートホールを共創の場にー」

相馬 巧（早稲田大学三輪研究室学部4年）

音楽とは人間の心の問題なのではないか。演奏者と聴き手の相互性の議論から共創的な新しい音楽の聴き方を提案し、より豊かな音楽文化の創造を目指す試みを行う。

コメンテータ：菅野 雄大（早稲田大学三輪研究室修士2年）

話題④「影の平等性と差異」

林 真秀（早稲田大学三輪研究室修士1年）

すべての人が等しく黒塗りで描画される影の世界において、人々のもつ個性や違いはどうなってしまうのだろうか。またこの違いを影メディアにおいてどう扱うことができるのか。

コメンテータ：渡辺 大喜（早稲田大学三輪研究室OB）

林 成紘（早稲田大学三輪研究室OB）

話題⑤「共創表現インタフェースの設計と開発」

高橋 卓人（早稲田大学三輪研究室修士2年）

（内容紹介は後日公開）

コメンテータ：林 龍太郎（早稲田大学三輪研究室修士2年）

[17:00-17:10] 10分休憩

[17:10-17:50] 栽培（全体討議）

ファシリテータ（司会）：高橋 卓人，林 龍太郎

[17:50-17:55] 収穫（まとめ：三輪 敬之）

[17:55-18:00] 次回の日程確認と話題提供者の選出

三輪研究室OB(OG)および研究室以外の方々のご参加をお待ちいたしております。事前に参加が確定している方は下記URLの出席登録・お問い合わせフォームよりご連絡ください。

<http://www.miwa.mech.waseda.ac.jp/cocreation/cocreation.php>

当日参加も大歓迎です！